



かっせんはら100

ほんち



＜宮城病院基本理念＞良い医療を安全に、心を込めて

地域医療連携室長あいさつ



日頃は地域医療連携室にご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

令和6年4月より私は院長に就任しましたが、引き続き地域医療連携室長は継続させていただきます。現在、病院全体として行う取り組みには、医療安全・感染制御・倫理的課題の解決などがありますが、地域医療連携はそれらと並び柱となるものです。その重要性故に室長継続という形をとりましたので今後ともよろしく願いいたします。

当院は令和6年3月に中央4階病棟の一般病棟60床を地域包括ケア病棟60床に再編しました。それに伴い南b病棟44床を閉棟したため、病院全体で見るとこれまでの344床から300床になりました。ただ診療体制は特に変わりませんので、地域医療や脳卒中等の二次救急、また当院の特徴である集束超音波治療やパーキンソン病の手術治療もこれまでと同様に継続します。この中で地域医療に関しては地域包括ケア病棟自体増えているので問題ありませんが、二次救急については心配される方もいると思います。これについては院内のベッドコントロールで対応しますので、ご相談いただければこれまで通り入院治療可能ですのでご安心ください。

本年度も皆様方の貴重なご意見を賜りながら、より良い地域医療連携を構築できればと考えておりますので宜しく願い申し上げます。

令和6年10月
地域医療連携室長 安藤肇史



ふるえ

にお困りの方は
いらっしゃいますか？

宮城病院は、東北唯一のFUS（MRガイド下集束超音波治療）を実施している医療機関です。2020年より治療を開始し、10月末現在で累計236例の治療を行っています。

本態性振戦やパーキンソン病の診断を受けている方が主な対象者となります。「手がふるえて書字ができない」「箸を使えない」「コップやお椀が持てない」など、ふるえにお困りの方がいらっしゃいましたら、当院地域医療連携室へお気軽にご相談ください。症状をお聞きした上で、外来受診等につなげていきます。

新任医師の紹介



脳神経内科 中村 貴彬 医師

はじめまして。2023年10月より宮城病院に赴任し、脳神経内科医師として勤務している中村貴彬と申します。

私は2014年に東北大学を卒業し、その後、宮城県内の複数の病院で脳神経内科医として6年間の経験を積みました。その後、4年間の大学院博士課程を経て、現在に至ります。医師として日々の診療に励む一方で、医学研究を通じて医学や科学の発展に貢献したいという志を持ち、神経疾患の研究を続けています。

日本では人口減少と少子高齢化が進んでおり、10数年後にはそのピークを迎えると予想されています。これに関連して、「2040年問題」とも呼ばれる課題が浮上しています。高齢者に多い認知症やパーキンソン関連疾患、脳卒中などの疾患は今後ますます増加すると予想されます。

特に宮城県南部から福島県北部にかけての地域は、脳神経内科を専門とする病院が少なく、宮城病院に求められる役割は非常に重要だと認識しています。忙しい日々ですが、地域の皆様のお役に立てるよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科医長 伊藤 辰徳 医師

はじめまして。この度、当院に赴任いたしました伊藤辰徳と申します。東北大学病院呼吸器内科肺癌グループに所属しており、東北メディカルメガバンク機構から地域循環型医療の一環として8月から11月までの4ヶ月間、派遣されて参りました。

大学病院では主に肺癌診療と臨床試験、治験に携わってまいりました。これらの経験を活かし、当地域の呼吸器疾患診療に貢献できればと考えております。

専門性を持ちつつも、患者さま一人ひとりに寄り添った診療を心がけてまいります。呼吸器疾患は生活に密接に関わる症状が多いため、皆様の日常生活の質の向上にも力を注ぎたいと思います。

短い期間ではございますが、地域医療の発展に少しでも寄与できるよう精進して参ります。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

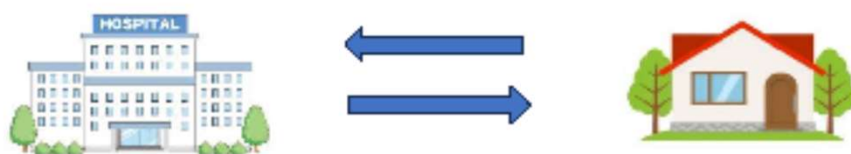
かっせんはら掲示板



〈レスパイト入院のご案内〉 2024.8.1～

当院では、在宅で療養生活をしている患者さんやご家族を支援させていただくため、レスパイト入院の受け入れを行います。

患者さんやご家族の休息目的、ご家族のご都合に合わせてご入院していただくことが可能です。



☆ご利用できる方

- ・当院かかりつけで病状が安定しているが在宅で医療機器を利用している方
- ・常時、医療行為・介護が必要な方
- ・在宅療養が再開できる方
- ・介護保険サービスのショートステイの利用が困難な方

☆ご利用について

まずは、地域医療連携室へケアマネジャーよりご連絡ください。

その際に希望日をお伝えください。

主治医へ受け入れ可能か相談します。

受け入れが可能でベッド調整ができ次第、ケアマネジャーへご連絡させていただきます。

※ご希望に添えるよう調整しますが、ご希望日より前後する場合があります。



〈問い合わせ先〉
宮城病院 地域医療連携室
TEL:0223-37-1131
FAX:0223-37-5055

第14回 医療と看護・介護の 多職種連携研修

9月10日、当院大会議室にて上記研修を開催しました。梶谷亮 認知症看護認定看護師が講師となり、幻覚や妄想など精神症状が強い場合の対応など、認知症患者に対するケアについて事例を交えながら講義いただきました。

今回はYouTubeでの動画配信とのハイブリッド開催となりました。現地参加10名、動画視聴31名（再生回数46回）で合計41名の方々にご参加いただきました。アンケートでは、「身近な話題で良かった」「分かりやすかった」などの感想をいただきました。

今後も様々なテーマで研修を企画し、皆様にご案内いたします。



編 集 後 記

いよいよ秋本番となり、朝晩は冷え込む時期になってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私はそろそろコタツを出そうかなと考えておりました。食欲の秋でもあるので、1日3食しっかり食べて体調管理していきたいと思います。皆様もどうぞお気を付けてください。

K.K

宮城病院
公式Instagram



【発行・編集】
独立行政法人国立病院機構宮城病院
地域医療連携室

〒989-2202

宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL (0223) 37-1131 (代表)

FAX (0223) 37-5055 (連携室)

<http://miyagi.hosp.go.jp/>